



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年9月30日



歩き方教室でケガ予防のストレッチを学ぶ

またコンテストに先立ち、参加者がケガなく1000日間の歩き続けられるよう、専門家の指導による「歩き方教室」を開催。8月21日(水)に問屋町会館2階大会議室で開催された同教室には45名が参加した。青森山田高校サッカー部フジカルトレナーの若松佑弥氏を講師に招き、実際に体を動かしながら、歩く姿勢やケガ予防に有効なストレッチの仕方を学んだ。

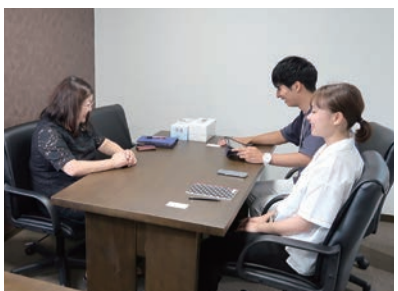
今回のコンテストでは花王(株)が提供している健康支援サービス「ホコタッチ」システムを利用。同システムは加速度センサーを内蔵した専用の歩数計とこれに蓄積されたデータを独自の分析手法によって、歩数、歩行速度、消費カロリー、装着時間について、目標と共に測定結果を確認できる。また、歩行の量(歩数、時間)と歩行の質(速度、歩き方)を解析し歩行生活年齢も表示される。歩数計を読み取りリーダーにかざすと結果シートが自動で印刷できるほか、専用のポータルサイトで個人や企業別のランキングも確認できる。

第1回の中間報告では1日平均歩数が1万7千歩を超える猛者も現れ、他の参加者はより一層気合が入っていた。

今回のコンテストでは花王(株)が提供している健康支援サービス「ホコタッチ」システムを利用。同システムは加速度センサーを内蔵した専用の歩数計とこれに蓄積されたデータを独自の分析手法によって、歩数、歩行速度、消費カロリー、装着時間について、目標と共に測定結果を確認できる。また、歩行の量(歩数、時間)と歩行の質(速度、歩き方)を解析し歩行生活年齢も表示される。歩数計を読み取りリーダーにかざすと結果シートが自動で印刷できるほか、専用のポータルサイトで個人や企業別のランキングも確認できる。

第1回の中間報告では1日平均歩数が1万7千歩を超える猛者も現れ、他の参加者はより一層気合が入っていた。

今回のコンテストでは花王(株)が提供している健康支援サービス「ホコタッチ」システムを利用。同システムは加速度センサーを内蔵した専用の歩数計とこれに蓄積されたデータを独自の分析手法によって、歩数、歩行速度、消費カロリー、装着時間について、目標と共に測定結果を確認できる。また、歩行の量(歩数、時間)と歩行の質(速度、歩き方)を解析し歩行生活年齢も表示される。歩数計を読み取りリーダーにかざすと結果シートが自動で印刷できるほか、専用のポータルサイトで個人や企業別のランキングも確認できる。



組合員企業にもヒアリング

2日目は、1日目に見聞きした問屋町の機能について学生自身が分析。それを踏まえて、問屋町がより利用しやすくなるようなアイデアを、事務局職員の前に発表した。今回のインターンシップは組合では初の試みであったが、学生にとってはBtoB企業を知る貴重な経験となったと同時に、組合にとっても学生目線の面白い気づきがたくさんあり、お互いに非常に有意義な2日間となった。

組合では新たな健康づくりの取り組みとして、チームで歩数を競い合うコンテスト「問屋町100日ウォーキング」を開催し、36チーム108名がエントリーした。同コンテストは健康事業の一環として、組合員従業員の運動不足解消や運動習慣のきっかけづくりとなるべく初開

催。1チーム3人で参加し、8月23日から11月30日までの100日間のチーム全員の合計歩数を競うもの。全参加者に配った歩数計と各企業に設置した読み取りリーダーを通じてインターネット経由で歩数を管理し、歩数合計の上位3チームを年明けの組合員新年会で表彰する。

## 運動習慣のきっかけづくり 問屋町100日ウォーキング

またコンテストに先立ち、参加者がケガなく1000日間の歩き続けられるよう、専門家の指導による「歩き方教室」を開催。8月21日(水)に問屋町会館2階大会議室で開催された同教室には45名が参加した。青森山田高校サッカー部フジカルトレナーの若松佑弥氏を講師に招き、実際に体を動かしながら、歩く姿勢やケガ予防に有効なストレッチの仕方を学んだ。



参加者には歩数計を貸出



記録は読み取りリーダーにかざすだけ

## 大学生のインターンシップ受け入れ

組合では8月20日(火)、21日(水)の2日間、大学生のインターンシップを受け入れた。

2日目は、1日目に見聞きした問屋町の機能について学生自身が分析。それを踏まえて、問屋町がより利用しやすくなるようなアイデアを、事務局職員の前に発表した。

今回のインターンシップは組合では初の試みであったが、学生にとってはBtoB企業を知る貴重な経験となったと同時に、組合にとっても学生目線の面白い気づきがたくさんあり、お互いに非常に有意義な2日間となった。



### 組合員昼食会

8月8日(木)に問屋町会館1階会議室にて、今年度2回目となる組合員昼食会が開催され、組合員ら45名が参加した。

はじめに「おおもり働き方改革推進企業認定制度」について青森県健康福祉部の館山氏が説明した。

「おおもり働き方改革推進企業認定制度とは働き方改革に積極的に取り組む企業を県が認証する制度。全ての労働者が働きやすい環境づくりを推進するとともに、労働者の仕事と結婚から子育ての希望の実現を目指す。館山氏は「働

### 一般市民向けの健康診断を実施

問屋町会館において一般市民を対象とした問屋町地区健康診断が実施された。6月から8月にかけて計3回行われた同健診は、問屋町の近隣企業従業員ら57名が受診した。

問屋町地区健康診断は、当組合が青森市南部の健康づくりの拠点となるべく健康事業の一環として2017年度から実施。組合員企業も受診でき、問屋町での受診機会が増える。とあって大変好評を得ている。

今年度から新たに全国健康



問屋町地区健康診断

保険協会との生活習慣病予防健診の受診も可能となり、利便性が更に向上。専用バスにより、胸部レントゲンや心電図検査に加え胃部レントゲン検査も行われた。今後も利便性向上を図るべく更なるサービス拡充を図っていく。

き方改革の取り組みにより職員の満足度が上がり、働きがいのある職場となることで、生産性の向上やサービスの質の向上にも繋がる」と説明した。

続いて、アクセスジョブ東日本エリア長補佐の佐藤氏と青森事業所の担当者が「障がい者の就労及び定着支援」について紹介。佐藤氏は「就労移行支援とは、障がい者総合支援法に定められた障がい者福祉サービスの一つ。障がい者が仕事をすることで必要なスキル等を身につける職業訓練のほか、面接対策や資格取得などを通して一般企業への就職をサポートし、就職後には職場への定着支援も行う。新

今年度も開催  
ボルダリング教室

今年度1回目のボルダリング教室が8月26日(月)に開催された。今年で4年目となる同教室は、組合員である



専用バスで胃部レントゲンも受診

施設の「AJサテライトオフィス」では人材の採用・定着・就業場所の確保など障がい者雇用に関する悩みを解決し、法定雇用率の達成や安定した雇用をお手伝いする」とPRした。

最後に組合員のみちのくコカ・コーラボトルینگ(株)部長代理の福田氏が自社紹介を行った。

福田氏は「コカ・コーラでは1928年からオリンピック大会を支援しており、東京2020ではワールドワイドパートナーとして、また聖火リレーのプレゼンティンクパートナーとしても活動を行っている。東京2020が史上最高のオリンピックと讃

えられる大会となるよう盛り上げていく」と話した。

8月25日(日)、問屋町緑のボランティア隊による団体内美化活動が行われ、隊員とその家族30名が参加した。

今回は、問屋町地区の幹線道路及び北側枝線道路の街路樹下枝刈りや街路樹の除草を実施。まだまだ夏の暑さが残る中、隊員は額に汗しながら懸命に作業した。

今回の作業によってごみ袋約50袋分の下枝等が刈り取られ、雑然としていた街路樹は美しさを取り戻した。また、同作業により交差点の見通し

K・フロスピ(株)が問屋町内で運営するボルダリング施設(Glide Climbing)にて行われ、事務局含め7名が参加。同施設は夜11時まで営業しており、仕事終わりに参加しやすいよう夜7時から8時まで開催した。

ボルダリングとは突起物の設置された人工の壁を手足で登るスポーツで、オリンピック種目にも選ばれたことでも注目を集めている。施設内には難易度が異なるコースがいくつも設けられているため、初心者から上級者まで老若男女問わず楽しめる施設となっている。

も改善されて交通安全にも一役買った。

同隊ではこの後、問屋町の南側及び第二問屋町の街路樹下枝刈りや除草作業を予定しており、問屋町の美化推進のため活動を続ける。



ボルダリング教室

参加者は施設職員からの説明後、簡単なコースから順番に挑戦。馴れない体の動かし方に苦戦しながらも、体だけでなく頭脳も使うボルダリングの魅力を感じた。



緑のボランティア隊

冷熱をデザインする **水/熱/冷**

■設計・施工・メンテナンス

- 水温システム ●凍結・冷蔵設備
- 野菜・予冷設備(真空/差圧強制冷却)
- 真空凍結乾燥設備 ●廃熱回収装置
- CA設備 ●自動製氷設備
- 衛生・給排水設備 ●空調設備

**大青工業株式会社**

http://www.taiseiaomori.co.jp

本社 千030-0131 青森市問屋町1丁目9番30号 電話 017(738)2131 FAX 017(738)9333 E-mail: info@taiseiaomori.co.jp

八戸営業所 千039-1165 八戸市石堂3丁目9番13号 電話 0178(20)1561 FAX 0178(20)1562

いつもそばに 地域と共に ...未来へ

**吉田産業**

株式会社吉田産業 青森支店  
支店長 中村 好昭  
千030-0131 青森県青森市問屋町2丁目19-14  
TEL:017-728-2111 FAX:017-738-8110

建設資材、土木資材の販売および施工、気象情報の販売

# 問屋町たんしん

公共施設等視察会

【日時】

10月7日(月)

午前7時30分～午後6時

【視察先】

①亀の町(かめのちょう) ストア(秋田市亀の町)

②五城目町(ごじょうめまち) 地域活性化支援センター

〔南秋田郡五城目町〕

【参加料】

1人 2,000円

(税込、昼食代込)

【視察先概要】

亀の町ストアは、秋田市亀の町にある築50年の老朽化した3階建てビルをリノベーションして、コーヒースタ

ンター(通称・BABAME B.A.S.E.ババメベース)は、秋田市から北に30キロの位置にある五城目町の閉校した小学校の校舎をリノベーションし、2013年に開設。同セ

ンターを高齢化&人口減に悩む町のコミュニティ再生の核施設と位置づけ、起業やコミュニティ活動などを実施する事業者を支援するため町がシェアオフィスとして教室を貸出し、現在、8組のベンチャー企業・団体が入居している。

8月  
6日▽第2回問屋町従業員モニター会議  
7日▽問屋町地区健康診断  
8日▽第5回問屋町合同清掃  
16日▽金融審査会

20日▽会計経理の基礎講座 実践編①  
22日▽会計経理の基礎講座 実践編②  
27日▽会計経理の基礎講座 実践編③

## 主要事項

## 業務報告

## 問屋町ビジネススクール

## 問屋町

## 経済雑感

第九十九回

株式会社青森銀行問屋町支店

支店長 高橋 秀成

前号に引き続き、㈱青森銀行問屋町支店の高橋支店長による経済雑感をお送りする。

今回は人口減少による需要減少と売上・利益維持に向けた価格戦略について触れさせて頂きます。

人口問題研究所の推測では、青森県の人口は現在の124.9万人から約10年後には107.6万人(17.3万人減)、20年後には90.9万人(34万人減)と、実に現在の3割弱が減少する予測にある。

物価変動や年齢構成を考

慮せず、極めて単純計算となるが、例えば、食品関連で一人当たり年間25万円を県内で消費していると仮定すると、10年後で432億円、20年後では850億円の食品関連の県内消費が減少することになる。人口減少により市場が縮小する中、売上を維持拡大していくことがより厳しい時代に入ったことは言うまでもない。

要となると思われる。利益率アップには様々な対処がある。コスト削減や高付加価値の商品開発といったものが挙げられるが、ここでは「商品の価格戦略」について触れてみます。

圧的に上弁当(700円)が売れるようになるぞうだ。大手メガネチェーンでは4種類の価格帯(4,900円、5,900円、7,900円、9,900円)があったが、これを3種類(5,000円、8,000円、12,000円)に絞ったところ、販売の中心価格が、従来の4,900円から8,000円になり、販売単価が3,000円も上がった事例もある。

竹を選択する。人は大きな違いが判断できないと真ん中を

ある実験では並弁当(500円)と上弁当(700円)の2種類を販売すると、ほぼ半々が売れる。ここに特上弁当(900円)を加えると、

利益率が高く、最も売りたい商品を真ん中にする「松竹梅戦略」は時間を掛けずにできる意外に強力な価格戦略である。私も迷わずに真ん中を選択する「竹人間」の一員である。(完)



青森銀行問屋町支店 支店長 高橋 秀成 氏

求めたり、新規事業を展開するといった対応策もあるが、時間も要するし、業種や取扱商品によっては容易ではない企業も多く、そういった企業は、より利益重視の経営が必

竹を選択する。人は大きな違いが判断できないと真ん中を

ある実験では並弁当(500円)と上弁当(700円)の2種類を販売すると、ほぼ半々が売れる。ここに特上弁当(900円)を加えると、

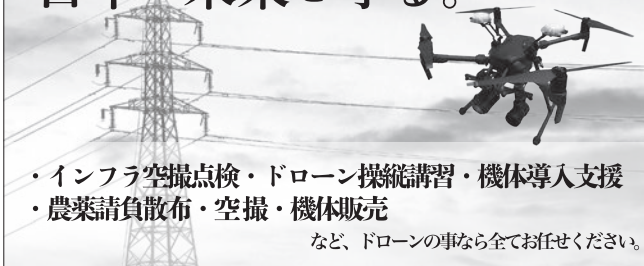
## 総務省消防庁防災協定締結企業

情報通信工事・設計施工・無人航空機空撮・無人航空機メンテナンス

# ココサイ通信特機株式会社

〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目9-9  
TEL (017) 738-0817  
FAX (017) 738-0839

## 大空から日本の未来を守る。



- ・インフラ空撮点検・ドローン操縦講習・機体導入支援
- ・農業請負散布・空撮・機体販売

など、ドローンの事なら全てお任せください。

## サービス付き高齢者向け住宅 県内24棟運営 シニアマンション・シルバーピュア

高齢者の方に、明るく、清潔なバリアフリーの住居を提供し心身ともに健康を維持、回復していただくことを支援しています。

## 有限会社ファイナンシャル・サポート

特定非営利活動法人ラ・シャリテ ㈱MT・Community

- 月額 70,000~100,000
  - 全室個室・専有面積 12.5~14 帖
  - バス・トイレ・キッチン・収納・冷暖房・緊急通報装置完備
  - 安心して暮らす生活サポートサービス
  - お一人お一人に合わせた介護サービス
- 青森市第二問屋町3丁目3番31号  
TEL 017-739-6538  
FAX 017-762-2357  
☎ 0120-934-741

- 【業務内容】
- オフセット印刷(ポスター・チラシ・パンフレット・リーフレット・記念誌他)
  - 企画・デザイン ●フォーム印刷(OCR・帳票・メールシール)
  - PDF・CD-ROM製作



## 第一印刷株式会社

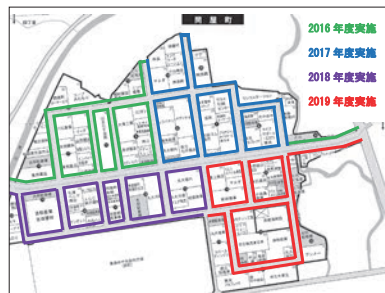
青森市石江字江渡3-1 〒038-0003  
tel 017-782-2333(代) fax 017-781-9153  
e-mail: diikg-1@abeam.ocn.ne.jp



### 問屋町地区の側溝泥上げ完了

組合では8月から9月にかけて問屋町地区の側溝泥上げを実施した。

近年、問屋町地区では側溝の汚泥堆積が原因で排水に支障をきたしていた。側溝の泥上げは組合員が実施するのが原則だが、造成から50年以上経過する問屋町地区では、蓋の老朽化や大量の汚泥の詰まりにより組合員が泥上げをすることが困難な状況となっていた。組合では組合員から泥上げ実施の要望を受け調査を実施したところ、問屋町地区の側溝は半分近く泥で埋まっ



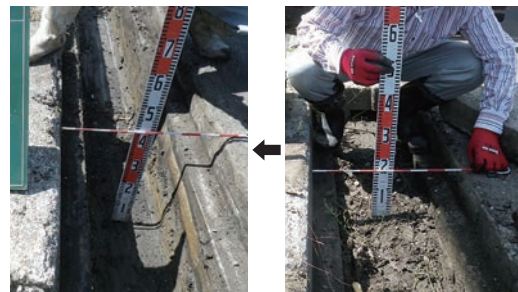
側溝泥上げ作業箇所

ていることが判明。そこで専門業者に委託し、問屋町地区を4ブロックに分け、2016年から4カ年計画で側溝の泥上げを実施した。今回は問屋町2丁目東側ブロックの泥上げが行われ、箇



重機も使って泥上げ実施

所によっては汚泥の堆積が25センチにも及び、土嚢袋千6百袋あまりの汚泥を回収。今回で問屋町地区全ブロックの側溝泥上げ作業が完了し排水機能が大きく改善された。



40センチの深さの側溝に25センチもの汚泥が堆積

組合では今後も組合員が働きたやすい環境整備に努めていく。

### 団地企業訪問

今回は三戸町に本社を置く、太子食品工業(株)東北支店の東支店長にお話を伺った。

同社は納豆の製造販売を行う工藤商店として昭和15年に創業し、79年目となる現在では納豆の他に豆腐やもやし、油揚げや蒟蒻・心太など多くの和日配食品の製造・販売を行っている。本社の他5営業拠点と6箇所の工場にて、東北を中心に北海道から関東まで多くの家庭に美味しく、安心・安全な商品を提供している。

「当社では創業以来、業界初の製品や製法に挑み様々な技術を作り上げてきました。豆腐の賞味期限が3〜4日という当時

の常識を打ち砕いたのも当社の技術で、包装されるまで人の手にはまったく触れず無菌に近いクリーンな工程で製造することで日持ちの長さを実現しました。また原料にもこだわり、「厳選した大豆」と「おいしい水」と「天然にがり」だけを使用しています。新商品として今年の3月から「2丁寄せ生とうふ」を販売しています。保存する水を入れないため味が薄まらず、また最終工程での熱殺菌を行わないためおいしさそのままに出来たての味をお客様へお届けすることが可能になりました。ぜひご賞味ください」とアピール。業界の現状について尋ねると



太子食品工業(株)東北支店 支店長 清光 氏

「近年、納豆の健康効果が見直されており、当社では『美味しく健康』をキーワードに健康を意識した商品開発を検討してきました。その結果、今年の9月に『減塩たれ納豆』『DHA・EPAたれ納豆』『カルシウムたれ納豆』の健康たれ納豆シリーズ3品を新発売しました。また、パッケージデザインは入社2年目の若手が担当し、これまでの

「近いタイシ商品で若年層へのPRも含めお客様に健康生活を提案してまいります」と語る。同氏の自身の目標について聞く「当社の製品は、品質保持利などの余分なものは一切使いません。安心安全かつ美味しく健康的な製

(50歳)

### 編集後記

今年の新規事業として共同求人事業とインターンシップ導入支援事業があります▼共同求人事業は9月に市内三大学にインターンシップにも取組み始めました▼健康事業では100日ウォーキング・コンテストが始まり、懸案だった問屋町地区の側溝泥上げも4年掛りで完了しました。取組むべき課題には、組合は愚直に取組みます▼転話題。今回は近著『環境再興史』についてです。「日本の環境がこの30年で劇的に改善された」という話です▼著者は公害時代から環境問題を最前線で見続けてきたジャーナリスト石弘之氏▼高度成長期。①乱獲で33羽まで減ったタンチョウが、180羽を超えるまで回復。②洗剤の泡による公害が起きた首都圏の多摩川が、水質が改善しアユが100万尾も遡上▼まだ問題はあつたものの、意外なほど現在の日本は環境問題のかなり部分を克服したという事実です▼以下も事例です③埋立てで干潟を失った東京湾に、海水浴場は29カ所、潮干狩り場は15カ所まで増えた④大気も海洋も汚染が進行した北九州市は、世界の環境都市モデルになった▼⑤「水清ければ魚すまふ」が現実になり、瀬戸内海や有明海などの20都市では、海水の栄養分が不足して、海苔やワカメの養殖に被害が出はじめた。そのため世界に例のない、下水処理水を流し込む検討を始めている▼では何が環境を救ったのか。著者は、①市民運動・特に女性の力②自治体職員の頑張り③企業意識の変化④産業構造が軽薄短小になった、等をあげています▼公害時代を経験した世代には驚くべき良き変化です(藤本)

あなたの健康を応援します。



太子食品工業株式会社

本社 三戸郡三戸町大字川守田字沖中 68 TEL.0179-22-2111  
青森事務所 青森市第二問屋町 3丁目 2-31 TEL.017-739-5121

お茶は心に注ぐもの。

### 宇治園

土作りから荒茶製造、選別、ブレンド、火入れ。すべての工程に息づく宇治園のこだわり。

青森支店  
〒030-0131 青森市問屋町2丁目12-25  
TEL.017-738-4811 FAX.017-738-4946

飲んで運転、お茶なら安全!